

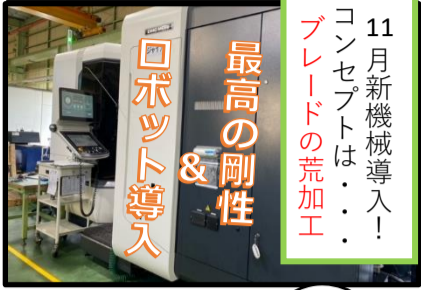
編集staff

澤田洋明 花田勉
安永則明 山下紗希
石元大樹 金井健太
宇高真優

5名の新入社員を迎えました

～コロナに負けず新設備

巻～ 続々登場の
作・ 宇高 真優



11月新機械導入!
コンセプトは...
ブレードの荒加工

最高の剛性
&
ロボット導入

機械名投票について
GEM☆サワダの伝統
これからも盛り上げ
ていきたいと思います!

金澤さん
ジャイアン

3月にまたまた
新機械導入!
コンセプトは...
新入社員の育成

大きくなりました!

機械名投票主催者が
当選してしまつてす
みません...でも、
良い名前でしょ?

玉田さん
左近次

次回の機械名投票にも
乞うご期待!

おめでとうございませう!

サワダ精密第34期生

入社式

4月1日令和3年度の入社式を行いました。新社会人として新しいスタートに期待と希望でいっぱいの新入社員5名は暖かい拍手で迎えられました。「ようこそサワダ精密へ、今日から一緒に頑張ってください」と始まった澤田社長の挨拶は、24年新紙幣1万円札の顔に選ばれた沢沢栄一さんの著書「論語と算盤(そらばん)」のお話。論語は道徳、人間的向上。算盤は経済、利益の追求。片方ばかり追いかけるとはよくないバランスが必要「人間的成長を基軸に」を大事に両方追い求めていきたい!新入社員も先輩社員も気が引き締まる熱いお言葉でした。

恒例!となりました小林専務率いる我武者羅応援団。今年度は配属先予定の先輩方から「歓迎の恥ずかしめのお手紙」自虐ネタを交えたお手紙で大盛り上がり、新入社員も先輩社員も恥ずかしめにあう一幕にほっこりしました。最後は2年生から新入社員へ気持ちのこもった応援歌。一年前は想像できない成長ぶり、頑張りました!嬉しかったのは先輩社員への感謝のメッセージが歌詞に入っていた事。でも:「歓迎(会)されてない!一年たつてもされてない!」しっかりおちまで付ける素晴らしさ。

コロナの終息が見通せない中、大変な時代に社会人になったと心配になっていると思います。そんな中サワダ精密に入社されたのは特別な縁があったのだと思えます。この危機を一緒に乗り越えましょう。そしてコロナが終息したら盛大な歓迎会を開催したいですね。

(文・安永 則明)

サワダ総選挙

サワダ精密では頑張っていた人や助けてもらって感謝している人などを社員から投票してもらい毎月MVPを決めています!今月はイベントとしてサワダ総選挙を開催しました。通常の投票は投票数に制限はありませんが総選挙は自分が一番だと決めた一人に投票するイベントです。今回で3回目の総選挙:やはり今回も一票差の激戦になりました。栄えある総選挙第1位は:松下さんでした。昨年度の年間MVP2位の力はやはり健在でした。

コメント一覧

「いつも手直しの依頼快く引き受けて下さりありがとうございます。」

「予定の割り込みに申し訳ない。助かりました。」

「材料の入りが遅れていた件、連絡くれてありがとう。助かりました。」

「ちょっとした気づきや優しさのコメントが多数ありました。いつもいいコメントばかりで集計するとき暖かい気持ちになります。いつか総選挙で1位が取れるよう頑張っていこうと思います。」

(文・金井 健太)

一泊研修

二密は避けても内容は濃密!

サワダでは毎年恒例だった一泊研修。しかし昨年はコロナの影響で、残念ながら一泊「じゃない」研修となりました。それはその良さがある。しかし、普段の会社を離れた特別な空間でこそ流れる心地のいい緊張感、終わった後の結束感:その経験と歴史を風化させたくない!そこで今年度は若手グループと中堅社員グループの少数選抜メンバーによる、新たな研修体系をとることで、無事に一泊研修を開催することができました!

◆若手の研修内容:安田講師のもと、働く全ての人の原点とも言える映画「てんびんの詩」を鑑賞。他、指針書を基に今の自分達に何ができるか?というテーマで、指針書の内容を掘り下げ、メーカー企業様のアフターフォローの姿勢から学ぶ、気遣いの真髄は?など、「あたりまえを追求し続けるからこそ極められるスキル」を知り、これからの仕事を見つめなおすことができた貴重な二日間でした!

◆中堅の研修内容:指針書の内容を、藤井講師の実体験をもとに紐解き、深掘り、原点回帰。普段の働き方から、何ができていないか?逆に何が足りていないか?を照らし合わせ、濃密ディスカッション。二日目は「2.6.2 働きアリの法則」より、ムーブメントを起こす者、参謀になる者、従順についていく者、そして依存し足を引っ張る者、それぞれの特徴を分析。あらゆる角度から自分達の「これまで」と「これから」を再認識しました。

(文・山下 紗希)



Sapan便り

ベトナムの暑い夏

先日、カシフジ製ホブ盤1000台が搬入されました。これで現在計画しているすべてのプリー加工に対応できるようになりました。すでに450以下の製品については本格生産が開始しており7月中旬から納品が始まります。同時に今回の搬入設備でトライ加工も進めていかななくてはならないのでベトナムの暑い夏がさらに熱くなる予感MAX!

また、6月には5年間本社でエンジニアとして修業したスアンがベトナムに帰国しsapanで設計部隊を立ち上げていきます。すでに設計案件が何件かあります。がどこまでの実力を本社で付けたのか楽しみです!

ハノイやホーチミンといった中心地では若者は豊かになりよほどじゃないと、きつい仕事はしなくなってきたと聞きました。かつての日本でも1980年代それまで高度経済成長を支えていた製造業や建築業に対して「3X」と言い始め敬遠し始めた時代に似ています。きつい中にも達成感や充実感がありやりの密にはしません。そんな会社イヤーです。居場所がある、育つ環境がある、理解と寛容で人と接する:そっちの方が良いですか?

(文・花田 勉)

社長コラム 「理解と寛容」

オリンピックは開催されるのでしょうか?「無観客」が視野に入ってきたと言わざるを得ないでしょうね。

みなさん、「逆切れ会見」を覚えていますか?元五輪組織委員長の森喜朗さんが、「女性が居る会議は長い」旨の発言をし、炎上した件です。皆さんはどう感じましたか?今話題にしたのは、あの袋叩きっぷりです。



森さんは人気のある人ではないですよ。私自身も好きではありません。且つ、発言自体も、謝罪会見の対応も、「上手にできました」とは言い難い。ですがあそこまで追い込む必要はありますか?83才ですよ。失敗もするでしょ。彼が自分の家族なら:とか考えちゃいます。「もー、ごめんさい。許してあげて下さい。はいはい、もー辞めますから。」ってなります。

キャスターは難しい顔をしていかに自分がクリーンなことを言っているか競い合い、街頭インタビューで「正解」を作り上げ、ネットでは極端な正論を振りかざし言いたい放題でストレス発散。反対意見なんて言える空気はありません。それこそ袋叩きの倍返し、もう退場ですよ。この記事:やばい?

ひとつの失敗で地の果てまで追及されるようなサワダ精密にはしません。そんな会社イヤーです。居場所がある、育つ環境がある、理解と寛容で人と接する:そっちの方が良いですか?